

令和6年度

教育委員会の自己点検・評価報告書

【令和5年度事業対象】

令和6年12月

中央市教育委員会

# 目 次

ページ

## I はじめに

- 1. 趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 点検・評価の対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3. 点検・評価の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 4. 報告書の公表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

## II 教育委員会の活動及び運営状況

- 1. 教育委員会委員構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2. 教育委員会会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3. その他活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

## III 令和5年度教育委員会の点検・評価シート

- 1. 教育委員会の活動状況に対する点検・評価・・・・・・・・ 1 2
- 2. 教育委員会の事務事業の執行状況に対する点検・評価・・・・ 1 3

## IV 教育委員会の点検・評価に関する学識経験者からの意見・・・・・・・・ 2 5

## I はじめに

### 1. 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないと定められています。

中央市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、令和5年度に実施した事務事業への取組について、点検及び評価を行い、学識経験を有する者の意見を付し、報告書にとりまとめました。

#### 【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

昭和31年法律第162号

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2. 点検・評価の対象

教育委員会の活動状況及び第2次中央市教育振興基本計画(令和2年3月策定)に示す施策の執行状況やその成果等について、点検及び評価を実施しました。

### ●第2次中央市教育振興基本計画における施策の体系

教育の基本「まごころ」		
基本目標	基本方針	施策の方向性
次代を切り拓く力を養う教育の実現	調和のとれた知・徳・体を育成します	確かな学力の育成
		豊かな心の育成
		健やかな体の育成
		幼保・小・中の連携
生涯成長することができる学習環境の形成	学校・家庭・地域の連携により教育の質の向上を図ります	学校と家庭と地域の連携強化
		家庭・地域の教育力の向上
生涯成長することができる学習環境の形成	いきいきと学び続けられる生涯学習の充実を図ります	生涯学習の推進
		生涯スポーツの推進
		図書館活動の推進
		歴史・文化の継承
誰もが確かな学びを受けられる教育体制の整備	多様なニーズへ対応するための教育機会の創出と充実を図ります	教育機会の保障
		学校施設の整備
	教育の質を向上するための基盤整備を行います	学校における働き方改革の推進

### 3. 点検・評価の方法

#### (1) 点検・評価の内容

##### ① 教育委員会の活動状況

教育委員会の活動状況の報告を行い、定例会及び臨時会の運営改善、会議の公開、情報の発信及びその他の活動状況等の点検・評価を行いました。

##### ② 事務事業の執行状況

第2次中央市教育振興基本計画に掲げる主要施策の執行状況及びその成果の点検・評価を行いました。

#### (2) 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、外部の教育に関し学識経験を有する者から意見を聴取しました。

### 4. 報告書の公表

報告書は中央市議会に提出するとともに、中央市ホームページ等で公開します。

## II 教育委員会の活動及び運営状況

### 1. 教育委員会委員構成

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育長及び4名の教育委員で組織されています。

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

職名	氏名	任期
教育長	石田 秀博	教育長 R 3. 4. 1 ~ R 6. 3.31
教育長 職務代理者	保坂 かおり	職務代理者 R 5. 4. 1 ~ R 6. 3.31 委員 R 2. 5.17 ~ R 6. 5.16
委員	志村 祐二	委員 R 3. 5.17 ~ R 7. 5.16
委員	石原 英一	委員 R 4. 5.17 ~ R 8. 5.16
委員	河西 忠衛	委員 R 5. 5.17 ~ R 9. 5.16 委員 R 1. 5.17 ~ R 5. 5.16

### 2. 教育委員会会議の開催状況

教育委員会の会議は、毎月1回開催する定例会と必要に応じて開催する臨時会となります。

令和5年度は、13回（定例会12回、臨時会1回）の会議を開催しました。

#### 付議議案・報告事項

開催月日	会議区分	事案区分	件名
4月7日	定例会	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸行事報告</li> <li>・新年度の組織等について</li> <li>・令和5年度教育委員会開催日程について</li> <li>・令和5年度年間行事割当予定について</li> <li>・市立学校儀式等教育委員出席覚、教育長職務代理者年度別輪番表について</li> <li>・令和5年度山梨県市町村教育委員会連合会定期総会について</li> </ul>

開催月日	会議区分	事案区分	件名
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度県教育施策及び予算に関する要望書について</li> <li>・教職員の服務規律の確保について</li> <li>・令和5年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会・総会及び研修会（埼玉大会）の出欠について</li> <li>・令和5年度中北地区教育委員会連合会定期総会及び研修会について</li> <li>・「第14回教育総合展（東京会場）への参加」と「5月定例教育委員会の開催」について</li> <li>・新教育委員辞令交付及び令和5年度第1回臨時教育委員会の開催について</li> <li>・今後の予定</li> <li>・その他（市関係・教育総務関係・学校教育関係・生涯教育関係の行事日程）</li> </ul>
		協議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会の年間行事について</li> <li>・各学校評価について</li> </ul>
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大鳥居宇山平遺跡発掘調査終了報告書について</li> <li>・学校医の変更について</li> </ul>
5月10日	定例会	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸行事報告</li> <li>・令和5年度「第1回県管理主事学校訪問」について</li> <li>・令和5年度「新入生ブックプレゼントセレモニー」の実施について</li> <li>・令和5年度「市教育委員学校訪問」の実施について</li> <li>・任期満了に伴う中央市教育委員の辞令交付について</li> <li>・各学校の（これからの）あり方を検討する懇話会の開催について</li> <li>・令和5年度中北教育事務所「第1回ふれあい学校訪問」の実施について</li> <li>・令和6年度県教育施策及び予算に関する要望について</li> <li>・令和5年第2回定例市議会(6月)補正予算について</li> <li>・令和5年4月1日現在 中央市小中学校在籍児童生徒数について</li> <li>・今後の予定</li> <li>・その他（市関係・教育総務関係・学校教育関係・生涯教育関係の行事日程）</li> </ul>
		協議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価について</li> <li>・市教育委員会の事務の点検及び評価における書式の変更について</li> <li>・教職員の多忙化改善計画の評価結果について</li> <li>・中央市学校給食費徴収規則の一部を改正する規則について</li> </ul>
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>
5月16日	臨時会	協議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問の確認事項について</li> </ul>
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制服に生徒の氏名が刺繍されていることについて</li> </ul>

開催月日	会議区分	事案区分	件名
6月2日	定例会	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸行事報告</li> <li>・令和5年度「第1回県管理主事学校訪問」について</li> <li>・令和5年度第2回(6月)定例会市議会・一般質問通告について</li> <li>・今後の予定</li> <li>・その他(市関係・教育総務関係・学校教育関係・生涯教育関係の行事日程)</li> </ul>
		協議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会委員の委嘱・任命について</li> <li>・学校給食運営委員会委員の委嘱について</li> </ul>
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>
7月7日	定例会	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸行事報告</li> <li>・令和5年度夏季休業中の防災無線放送について</li> <li>・今後の予定</li> </ul>
		協議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コニカミノルタの教育業界向け学習支援サービス「Tomolinks」について</li> <li>・就学援助について</li> <li>・中央市立学校評議員設置要綱運用基準の一部改正について</li> <li>・その他(市関係・教育総務関係・学校教育関係・生涯教育関係の行事日程)</li> </ul>
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>
8月4日	定例会	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸行事報告</li> <li>・市町村教育委員会連合会について</li> <li>・中北地区教育委員会連合会について</li> <li>・今後の予定</li> <li>・その他(市関係・教育総務関係・学校教育関係・生涯教育関係の行事日程)</li> </ul>
		協議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度使用小学校教科書用図書の採択結果について</li> <li>・中央市学校施設あり方検討委員会設置要綱(案)について</li> <li>・中央市立学校における防犯カメラ設置及び管理運用に関する要綱の一部改正について</li> <li>・中央市使用料徴収条例及び中央市営夜間照明施設条例の一部改正について</li> </ul>
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助申請者・認定者数の保留分(4件)について</li> <li>・市内小中学校全校の危険箇所の緊急一斉点検実施について</li> <li>・令和6年中央市二十歳のつどい実施計画書(案)について</li> </ul>
9月1日	定例会	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸行事報告</li> <li>・令和5年度全国学力・学習状況調査結果について</li> <li>・熱中症対策のガイドラインの作成について</li> <li>・今後の予定</li> </ul>

開催月日	会議区分	事案区分	件名
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他（市関係・教育総務関係・学校教育関係・生涯教育関係の行事日程）</li> </ul>
		協議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市総合教育会議について</li> <li>・市教育支援センターについて</li> </ul>
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Tomolinks」について</li> <li>・新市民体育館建設に伴う検討委員会の再設置（再検討）について</li> </ul>
10月6日	定例会	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸行事報告</li> <li>・令和6年度採用・昇任管理職及び主幹教諭推薦者への面接について</li> <li>・第2回管理主事の市教育委員会訪問について</li> <li>・今後の予定</li> <li>・学級閉鎖について</li> <li>・今後の予定</li> <li>・その他（市関係・教育総務関係・学校教育関係・生涯教育関係の行事日程）</li> </ul>
		協議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民体育館建設検討委員会設置要綱の一部改正について</li> <li>・学校医の委嘱について</li> </ul>
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>
11月10日	定例会	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸行事報告</li> <li>・令和6年度採用・昇任管理職及び主幹教諭候補者の推薦について</li> <li>・今後の予定</li> <li>・その他（市関係・教育総務関係・学校教育関係・生涯教育関係の行事日程）</li> </ul>
		協議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度教育委員会の自己点検・評価報告について</li> </ul>
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の通学路安全推進会議の開催予定について</li> </ul>
12月1日	定例会	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸行事報告</li> <li>・学校のあり方に関する提言書について</li> <li>・管理職登用試験について</li> <li>・令和5年度末人事異動に伴う今後の日程について</li> <li>・今後の予定</li> <li>・その他（市関係・教育総務関係・学校教育関係・生涯教育関係の行事日程）</li> </ul>
		協議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラウンドゴルフ大会、ソフトボール大会の結果報告について</li> <li>・令和5年度教育委員会の自己点検・評価報告書の有識者からの意見内容の報告について</li> <li>・「まごころ給食」について</li> <li>・生涯教育課のスポーツ事業について</li> </ul>

開催月日	会議区分	事案区分	件名
1月5日	定例会	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月の公務経過報告</li> <li>・年度末教職員の人事異動等の日程</li> <li>・3月の小中学校卒業式の割当</li> <li>・1月の公務予定</li> <li>・その他（市関係・教育総務関係・学校教育関係・生涯教育関係の行事日程）</li> </ul>
		協議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村教育委員会連合会へ提出する「令和7年度文教施策と予算に関する要望」について</li> <li>・中央市中学生生徒自転車通学等用ヘルメット購入費助成金交付要綱の制定について</li> <li>・令和5年度の社会教育事業と来年度の予定について</li> </ul>
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会会議録の様式の変更について</li> <li>・社会体育事業の開会式の一本化について</li> <li>・3月定例教育委員会の日程変更について</li> </ul>
2月2日	定例会	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月の公務経過報告</li> <li>・令和6年3月定例教育委員会開催日程の変更について</li> <li>・令和6年度山梨県市町村教育委員連合会定期総会・春季研修会の開催について</li> <li>・令和5年度末人事異動等に伴う県管理主事等との意見交換の結果について</li> <li>・令和7年度文教施策と予算に関する要望について(市教育委員会からの要望)</li> <li>・令和6年小中学校卒業式の割当について</li> <li>・今後の予定</li> <li>・その他（市関係・教育総務関係・学校教育関係・生涯教育関係の行事日程）</li> </ul>
		協議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助費 新入学児童生徒学用品入学前支給について</li> <li>・規則の一部改正(中央市学校給食費徴収規則の一部改正)について</li> <li>・今後の学校再編の進め方について</li> </ul>
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生ブックプレゼントの贈呈方法について</li> <li>・県管理主事とのヒアリングについて</li> <li>・中央市の児童生徒数の状況、外国籍児童生徒の割合、山梨県下の教職員不足の状況、令和5年度末教職員人事異動に伴う要望事項のヒアリング内容の報告</li> </ul>
2月28日	定例会	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月の公務経過報告</li> <li>・令和6年度山梨県市町村教育委員連合会定期総会・春季研修会の開催について</li> <li>・令和7年度文教施策と予算に関する要望について</li> <li>・令和6年度中央市当初予算について（概要報告）</li> <li>・人事に係る今後の日程について</li> <li>・中北地区教育委員会連合会総会・研修会の開催について</li> </ul>

開催月日	会議区分	事案区分	件名
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の予定</li> <li>・その他（市関係・教育総務関係・学校教育関係・生涯教育関係の行事日程）</li> </ul>
		協議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三村小学校・玉穂南小学校への「学校あり方検討委員会」からの提言の説明会について</li> <li>・中央市教育委員会事務決裁規程の一部改正について</li> <li>・令和6年度各種スポーツ大会の進め方等について</li> <li>・学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について</li> </ul>
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央市立田富小学校長寿命化改修事業行程表について</li> <li>・「子ども第三の居場所」運営助成金交付決定通知書について</li> <li>・中央市スポーツ協会会則の一部改正について</li> <li>・青少年育成中央市民会議会則の一部改正について</li> <li>・令和6年度新入生ブックプレゼント事業について</li> <li>・2023年度第2回遺跡調査発表会について</li> <li>・令和5年度卒業式「告辞」について</li> </ul>

### 3. その他の活動

#### (1) 学校訪問

市内小学校6校、中学校2校の学校訪問を実施しました。

訪問日	訪問時間	訪問校
5月19日(金)	13:30~16:30	三村小学校
5月29日(月)	13:30~16:30	田富南小学校
5月30日(火)	13:30~16:30	豊富小学校
6月8日(木)	12:30~16:30	院内学級、玉穂南小学校
6月12日(月)	13:30~16:30	玉穂中学校
6月15日(木)	13:30~16:30	田富小学校
6月23日(金)	13:30~16:30	田富中学校
6月26日(月)	13:30~16:30	田富北小学校

## (2) 研修会

次の研修会に参加しました。(主なもの)

期日	研修会	場所
4月27日(木)	中北地区教育委員会連合会研修会	北巨摩合同庁舎
5月12日(金)	教育委員県外研修(教育総合展)	東京ビックサイト

## (3) 各種行事・大会等

次の各種行事・大会等に出席しました。(主なもの)

期日	内容
4月3日(月)	教職員着任式
4月6日(木)	市立小中学校入学式
5月19日(金)	新入生ブックプレゼント事業
5月27日(土)	田富北小学校運動会
6月3日(土)	田富小学校運動会
9月20日(水)～21日(木)	市立玉穂中学校学園祭 市立田富中学校学園祭
9月23日(土)	市立小学校運動会(三村小学校・玉穂南小学校・ 田富南小学校・豊富小学校)
11月10日(金)	子ども若者育成支援推進大会
1月7日(日)	二十歳のつどい
3月11日(月)	市立中学校卒業式
3月19日(火)	市立小学校卒業式
3月25日(月)	教職員離任式

## (4) 総合教育会議への出席

総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、市長と教育委員会が円滑に意思疎通を図り、連携して効果的に教育行政を推進していくため、市長が招集するもので、次のとおり開催され出席しました。

開催期日	場 所	内 容
令和5年11月10日(金)	中央市役所 南館 205会議室	今後の教育のあり方について

#### (5) 学校施設のあり方の検討について

本市の所有する学校施設は半数以上が築30年以上経過しており、これまで「中央市立小中学校施設長寿命化計画」（平成30年度策定）をもとに、学校施設の長寿命化改修を基本とした各学校施設の整備などを進めてきましたが、現在では「新型コロナウイルス感染症」や「GIGAスクール構想」、「少人数学級の推進」等、計画策定時には想定できなかった教育環境の変化が、学校現場に大きな影響を与えています。

そこで、教育委員会では、市全体の今後を見据えた学校のあり方を検討することとしました。

令和5年度は、各学校において「あり方懇話会」を開催し、各学校の現状と課題、今後の市内小中学校（施設）のあり方についての意見交換を行いました。

また、学識経験者や学校教育関係者などを委員とした「中央市立学校のあり方検討委員会」を設置し、子ども達にとって望ましい教育環境の要件、学校の適正規模・適正配置の基準や方向性等、将来を展望した「学校のあり方に関する提言」（令和5年11月）をいただきました。

#### ○あり方懇話会開催状況

令和5年5月25日	三村小学校あり方懇話会
令和5年6月2日	玉穂南小学校あり方懇話会
令和5年7月7日	玉穂中学校あり方懇話会
令和5年7月14日	田富中学校あり方懇話会
令和5年8月4日	田富小・田富北小・田富南小・豊富小学校あり方懇話会

#### ○中央市立学校のあり方検討委員会開催状況

令和5年9月25日	第1回中央市立学校のあり方検討委員会
令和5年10月10日	第2回中央市立学校のあり方検討委員会
令和5年11月8日	第3回中央市立学校のあり方検討委員会

### Ⅲ 令和5年度教育委員会の点検・評価シート

#### 1. 教育委員会の活動状況に対する点検・評価

<評価区分> 5 目的をはるかに超え、他への波及効果が見られるもの 4 目的以上に達成したもの 3 目的どおり達成したもの 2 目的まで達成できなかったもの 1 目的までまったく達成できなかったもの	
--	--

区分	項目		実績	成果又は課題	評価
	中項目	小項目			
1	教育委員会 会議の運営	会議の開催回数	○13回(定例会12回・臨時会1回)開催。	○会議規則に基づき、月1回の定例会と、必要に応じて開催できる臨時会を1回開催した。	3
		会議の運営	○定例会は、毎月第1週の金曜日の14時から開催することを年次計画として位置づけ、円滑な開催運営を図った。	○限られた時間の中で、会議資料の事前配布等による合理化を図り、効率的な会議運営と慎重審議が行われた。	3
2	教育委員会の 会議の公開・ 情報発信	会議の傍聴者の状況	○会議の開催を市掲示板に告示するとともに、市ホームページに会議の開催のお知らせと傍聴案内を掲載した。(傍聴者定数は5名)	○傍聴者数 2名 (令和4年度は0名)	3
		議事録の公開、広報活動等の状況	○市ホームページにおいて議事録を公開した。	○教育委員会議事録を公開したことで、会議での決定事項等を伝えることができ、広く情報共有が図られた。	3
3	教育委員会と 事務局の連携	教育委員会と事務局の意思疎通の状況	○会議等を通して事務局と有効で活発なコミュニケーションを行った。	○事前に議題に係る資料を送付し、会議等で活発な意見交換を行った。	3
4	教育委員会と 首長との連携	教育委員会と首長の意思疎通の状況	○市長との教育施策における連絡調整及び意見交換を実施した。(11/10総合教育会議)	○今後の教育施策への理解や連携が図られ、課題の共有ができた。	3
5	教育委員会の 自己研鑽	研修会、会議等への参加状況	○参考図書(資料)の活用 ○研修会等への積極的な参加 ○生涯教育関係行事等への積極的な参加	○研修会等へ積極的に参加し、市の教育行政に反映できるよう自己研鑽に努めた。	3
6	学校及び教育 施設に対する 支援・条件整備	学校訪問	○市内全小中学校8校への学校訪問の実施、現場管理職や教職員との意見交換と実施した。	○学校施設や授業風景等の確認や聴き取り等により、各学校の現状や課題を把握した。	3
		学校施設のあり方の検討	○今後の学校施設のあり方について学校ごとに「あり方懇話会」を開催し、それぞれ地域の住民やPTA、学校関係者等から意見を聴取した。	○学校ごととそれぞれの意見を伺うことができ、次年度からの学校再編に向けた検討方法等を協議することができた。	3
		各種行事・大会への参加	○市内公立学校の入学式・卒業式や各種行事等へ参加した。	○学校式典等への参列において、学校の運営や施設などの現状や課題を把握した。	3

## 2. 教育委員会の事務事業の執行状況に対する点検・評価

<p>&lt;評価区分&gt;</p> <p>5 目的をはるかに超え、他への波及効果が見られるもの</p> <p>4 目的以上に達成したもの</p> <p>3 目的どおり達成したもの</p> <p>2 目的まで達成できなかったもの</p> <p>1 目的までまったく達成できなかったもの</p>
---

施策の方向性		調和のとれた知徳体の育成	
施策		確かな学力の育成	
事務事業名	実績	成果又は課題	評価
小中学校市単独補助 教員等配置事業	○学校を取り巻く環境が多様化し、学校に求められる役割が拡大する中、児童・生徒一人ひとりのニーズに合わせた、きめ細やかな対応を実現し、誰もが確かな学びを受けられる教育環境を整えるため人員を配置した。	○アクティブクラスへの対応、特別支援教育の推進、基礎学力の向上など、支援を必要とする児童・生徒に対して指導を充実することができた。 ○部活動指導職員の増員により部活動における教員の負担軽減を行った。 ○支援を必要とする児童・生徒は増加傾向にあるため、継続した教員等の人員確保が必要である。	3
外国語教育（ALT派遣）推進事業	○外国人指導助手（ALT）を中学校に各1名、小学校の田富地区（3校）に1名、玉穂・豊富地区（3校）に1名の計4名を配置し、ネイティブスピーカーの活用を促進した。	○英語教育において、ALTが「Kahoot!」というアプリケーションを使い、児童・生徒の端末を活用した英語学習に効果的なICTの活用促進を図られた。 ○ALT配置数の数値目標6名は達成できなかったため、次年度は計画的に6名体制を目指す。	2
小中学生検定料補助 事業	○児童・生徒の学習意欲の向上及び学力向上を図るとともに、保護者の経済的負担軽減を目的として、各種検定料を助成した。	○助成対象を令和4年度までは実用英語技能検定としていたが、令和5年度からは、公益財団法人日本漢字能力検定協会が実施する日本漢字能力検定、同法人が実施する文章読解・作成能力検定、公益法人日本数学検定協会が実施する実用数学技能検定を加え、児童・生徒の受検機会を拡大することができた。 ※前年度実績を目標値と設定し、令和5年度は達成できた。 ・目標【令和4年度実績（英検のみ）】 申請数152人、助成金額320,530円 ・令和5年度実績 申請数223人、助成金額396,350円 （英検156人、漢検63人、数検4人、文章検0人）	3
外国人児童生徒等支援事業	○外国籍児童・生徒の増加や多様化に伴い、きめ細やかな支援体制整備が必要とされるなか、日本語指導員（市単）・学級担任等の関係職員が連携し、外国籍児童・生徒の実態に応じた支援や指導を実施した。	○日本語指導員とポルトガル語通訳を「三村小学校・田富小学校・田富南小学校・田富中学校」に配置することにより、日本語指導教室での学習支援や外国から直接入国する児童・生徒及び保護者への対応、高校進学や就職等将来の進路に向けた制度の周知など相談体制の充実を図ることができた。	3

学力向上支援スタッフ配置事業	○理解が十分でない児童・生徒への学力向上を支援するため、市内小中学校7校にスタッフを配置した。 ※令和5年度7名配置	○理解が十分でない児童・生徒への個別指導や全体指導の補助及び学習支援への適応支援を行うことにより、基本的な学習内容の定着、学習意欲の向上に向けて進めることができた。	3
ICT教育環境推進事業	○令和5年度はGIGAスクール構想で整備した高速大容量ネットワークと児童・生徒1人1台端末の運用開始から3年目となり、教職員向け研修の拡充や中央市ICTポータルサイト作成への取組を行った。	○教職員向け研修の拡充 ・冬期休業期間にGoogle研修を行ない、Google for Educationを利用した授業ノウハウの習得を促進した。 ・各校に派遣しているICT支援員を中心に、ICTに不慣れな教職員向けのミニ研修を授業終了後の時間帯に頻回に行い。教職員のICTスキルの向上に努めた。 ○中央市ICTポータルサイト作成 ICTを活用した授業のコツや方法などの事例集を市内小中学校教職員へ共有してもらうように中央市ICTポータルサイトを作成し、授業で役立てられるよう運用を開始した。	3
小中学校教育振興事業	○学校教育に必要な環境や教職員が効果的な指導を行える環境整備を図り、児童に主体的・意欲的な学習を促進するため、教育、指導に有益な図書を整備した。 ○理科備品等学校の教材備品や体育用消耗品などを整備した。	○児童・生徒に適した図書の蔵書を増やすことができた。 ○随時、理科備品等学校の教材備品や体育用消耗品などを整備することにより、児童生徒の学習環境を整えることができた。	3
中学校語学研修事業	○新型コロナウイルス感染症の影響が続き、渡航による語学研修事業を中止している。	○渡航による語学研修は、保護者の経済的負担などの費用面に加え、生徒の安心安全の確保などこれからの事業実施においては、検証が必要である。 ○ICTを活用した研修など、一部の生徒に限ることなく、国際理解とコミュニケーション能力を備えた人材育成を図り、外国語や多文化について学習する機会が得られる有意義な事業となるよう協議を継続していく。	1
家庭学習通信機器整備支援事業	○児童・生徒への家庭学習等の実施を支援するため、家庭にネットワークがない世帯へポケットWi-Fiの貸与を行った。 令和4年度に貸与用ポケットWi-Fiを整備。(19台)	○令和5年度は8台の貸与申請によりポケットWi-Fiの貸与を行い、1人1台端末の持ち帰り学習の促進が図られた。引き続き、事業の周知に努める。	3
<b>施策</b>	<b>豊かな心の育成</b>		
事務事業名	実績	成果又は課題	評価
小中学校教育振興事業	○体験を重視した教育の推進（自然体験教室・ふるさと探訪・農林体験学習・スキー教室・スケート教室等実施） ○福祉教育の推進（いのちの学習・認知症キッズサポーター養成講座・福祉講和（盲導犬・手話・聴覚障害）・車椅子体験・高齢者疑似体験等 実施）	○児童・生徒が生活体験や社会体験、自然体験など様々なリアルな体験活動を通し、自ら学び考える力や豊かな人間性などの「生きる力」を育むことができた。 ○高齢者・障がい者等、交流体験や講話を通じ、福祉についての理解を深めるとともに、他者を思いやる心を養うことができた。	3

いじめ問題に対する取組推進事業	○中央市いじめ問題対策連絡協議会を開催した。 開催回数：1回	○中央市いじめ問題対策連絡協議会を開催し、中央市いじめ防止基本方針に基づき、本市のいじめ防止の取組やいじめの状況を共有するとともに、関係機関との連携について共通理解を図ることができた。	3
心の教室相談員設置事業	○生徒が悩み等を気軽に相談し、ストレスを和らげることができる身近な存在として、子どもの発達上及び教育上の課題・問題における「心理教育的援助サービスの補助的な役割」を担う「準援助専門家」を田富中学校に「心の教室相談員」として配置した。	○「心の教室相談員」の配置により、生徒の相談機会を増やすことができた。また、養護教諭・担任・スクールカウンセラーと連携した相談活動を行うことができた。	3
<b>施策</b>	<b>健やかな体の育成</b>		
事務事業名	実績	成果又は課題	評価
小中学校各種大会出場補助事業	○学校教育の一環として行われる関東大会・全国大会に出場する経費の一部を補助した。 ※令和5年度補助件数：14件	○小中学校各種大会出場への経費の一部を補助することにより、小中学校のスポーツ・文化の活動等への参加を促進するとともに、保護者の負担軽減が図られた。	3
児童生徒等健康管理事業	○定期健康診断や身体測定の実施 ○各小中学校において学校・PTA・校医・地域の代表者で構成される「学校保健委員会」の開催	○定期健康診断や身体測定により、子どもたちの健康状態を把握し、健康の保持増進を図ることができた。 ○各小中学校の学校保健委員会では、学校保健安全活動について研究協議するとともに、家庭・地域との連絡調整や学校教育の円滑な実施及び健康教育に役立てることができた。	3
学校給食センター運営事業	○学校給食センターは、令和元年7月から学校給食衛生管理基準に適合した施設として、市内小中学校8校の給食を開始。 給食調理及び配送等業務は外部委託契約により安全面・衛生面に細心の注意を払い、児童・生徒に給食を提供。 ○センター運営は、管理担当・給食担当により事務執行。	○管理担当は施設・設備の維持管理並びに衛生管理に努め、事業を推進する環境整備を行った。 給食担当は、給食物資の調達、保管に細心の注意を払った。 ○給食献立は、綿密な打合せを行い、調理担当部門と連携を図った。 ○食器、食缶等の洗浄・消毒及び保管についても細心の注意を払った。	3
食育推進事業	○食育の推進 ○地産地消の推進 ○食品ロスを無くす。 ○アレルギーのある児童・生徒に安心安全な給食の提供 ○食中毒の防止 ○地元の食材を使った「まごころ給食」を提供し、郷土の理解を深めた。	○適切な栄養摂取について、市内8校への情報提供を行い、家庭と連携した食育推進に努めた。 ○地元の米・野菜を提供し、地産地消の推進を図った。 ○残食を減らす取組みを実践し、食品ロスを無くす取組みを行った。 ○学校給食における食物アレルギー対応指針に基づき、アレルギーのある児童・生徒に安心安全な給食を提供した。 ○学校給食衛生管理基準に基づいた適切な衛生管理を行い、食中毒の防止に努めた。 ○栄養食育推進計画に基づき、地場産物を使用した料理、日本の行事にちなんだ行事食や郷土料理、世界の料理などを献立に取り入れた。	3
<b>施策</b>	<b>幼保・小・中の連携</b>		
幼保小中の連携	○市と小学校・保育園・認定こども園等施設が連携を図り、小学校教育への接続が円滑に進むよう取り組んだ。	○保健師と連携する中で、保育園や認定こども園へ訪問し園児観察をして、就学する小学校へ情報提供するとともに、就学相談につなげることができた。	3

施策の方向性		学校と家庭と地域の連携による教育の質の向上	
施策		学校と家庭と地域の連携強化	
事務事業名	実績	成果又は課題	評価
放課後子ども教室推進事業	○こども運動教室、ヒップホップダンス教室、子ども学習サポート中央の3教室を開講した。	○活動を希望する小中学生が参加し、いきいきとスポーツや勉強をし、子どもの居場所づくりにつながった。	3
子どもクラブ育成事業	○各自治会で実施する夏祭りや環境美化運動、クリスマス会などへの費用助成 ○ボウリング大会(市全体の親睦球技大会)の実施	○各自治会で実施する夏祭りや環境美化運動、クリスマス会などへの費用を助成することにより、子ども達が親睦、精神の発達を図る機会を創出した。 ○ボウリング大会を実施し、地区の子どもクラブ員相互の親睦を深め、地域を越えた交流と活性化を図ることができた。	3
青少年育成事業	○青少年育成市民会議が主催する「家庭の日」啓発作品募集へポスターや作文など2,192点の応募があり、11月10日に子ども・若者育成支援推進大会を開催して、入選した児童・生徒の表彰及び作品の発表を行った。	○「家庭の日」のポスターの作成や作文による普及・啓発等に取り組み、家庭教育に関する学習機会の充実が図られた。	3
キッズアカデミー事業	○市内の小学生が年間を通じて(活動日は月1回(土曜日)で、5月から翌年3月までの11回)様々な体験学習やスポーツ、レクリエーションなどを参加する子どもたちが自ら話し合い、計画を立てて活動した。 参加児童数23名	○参加した児童・保護者へのアンケート結果では、「参加して良かった」の回答があり、保護者からは、「特別な体験をすることができて良かった」、「他の学校のお友達と交流できてよかった」、「毎年参加させたい」「子どもが苦手とすることの課題を発見することができた」等の児童の成長に関する事業効果を得られ、市内の小学生が学年・学区を超えたグループ活動から自主性・協調性・社会性などを養う機会となった。	3
大学連携事業	○山梨大学及び山梨県立大学と連携のもと、大学に出向き、将来教員を目指す学生に対して中央市立小中学校の説明を行い、「教育ボランティア」として募った。応募者を市内小中学校へ配置した。	○児童・生徒へのきめ細やかな指導のもと学力を向上させるとともに、教職員を目指す学生の学びを深めるために寄与することができた。 ○学生から多くの応募があったが、交通手段等の要因により最終的な応募者が少なかった。	2
メールビルダー事業	○一斉メール配信システム「学校安心メール」により、不審者情報などを保護者へ迅速に提供した。	○学校へのヒアリングを経て、令和5年度からシステムを切り替えて運用し、新機能として「データ添付機能」「リッチテキスト(カラー文面)機能」「出欠席報告機能(使用は学校裁量)」が追加され、文書削減や的確で迅速な保護者との連絡ツールとして利活用が促進された。	3
施策		家庭地域の教育力の向上	
事務事業名	実績	成果又は課題	評価
家庭教育支援事業	○保健師と連携した保護者への相談対応	○子育てにおける悩みや不安等を抱えている保護者に子どもとの関わり方などについて保健師との連携の中で相談・助言を行った。 ○家庭教育力の向上のため、家庭教育に関する学習機会や相談体制の充実を図る必要がある。	2

施策の方向性		いきいきと学び続けられる生涯学習の充実		
施策		生涯学習の推進		
事務事業名	実績	成果又は課題	評価	
二十歳のつどい事業	○「二十歳のつどい」の開催 開催日：令和6年1月7日（日） 会場：アピオ甲府	○代表者による社会の一員となる決意が感じられる「誓いのことば」や元生徒会役員等の協力のもと作成された「恩師へのビデオレター」の上映など、出席者にとって人生の節目となる式典を開催することができた。	3	
公民館事業	○公民館活動として、高齢者のための「まごころスマホセミナー」や、子供向け企画の「子ども科学教室」「親子で学ぶお金の教室」、そのほか「ヨガ教室」「与一・板額ひな人形づくり」「線香花火づくり」を実施し、計103人が参加した。	○公民館活動の参加者に終了後のアンケートを実施した結果、いずれも「とてもよかった」「よかった」と評価を受けた。	3	
生涯学習推進事業	○生涯教育講座の開催(16講座) 主な講座 ・高齢者のためのスマホ教室 ・細筆教室 ・多肉植物テラリウムづくり ・ヨガ教室 ・ハンドセラピー教室 ・夏の星空観察教室 ・まごころコンサート	○参加者が日常生活に役立つものや趣味につながるような講座や、健康に関する内容を織り交ぜて実施した。 ○親子での参加もあり、教室が親子ふれあいの場となった。	3	
施策		生涯スポーツの推進		
事務事業名	実績	成果又は課題	評価	
保健体育事業	○スポーツ推進委員協議会の活動 ○ヴァンフォーレ甲府「中央市サンクスデー」※ヴァンフォーレ甲府は、日本プロサッカーリーグ「Jリーグ」に所属し、山梨県の全市町村をホームタウンとするクラブチーム	○スポーツ推進委員協議会の独自事業により、市民へのスポーツの普及が図られた。 【主な事業】 ・市民ウォーキング大会(年2回) ・高齢者と一般成人を対象とした体力テスト測定会 ・パラスポーツを取り入れた軽スポーツ ○ヴァンフォーレ甲府「中央市サンクスデー」6月24日（土）にJITリサイクルインクスタジアムにおいて多くの市民の運営協力により行われた。 【運営協力】 ・エスコートキッズ等に抽選で選ばれた「市内小学1年生」 ・フェアプレイフラッグ 「玉穂FC」 ・ボールパーソン 「田富中学校サッカー部」 ・PRブース 「た・から、道の駅とよとみ、中央市商工会青年部」	3	

生涯スポーツ事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生涯スポーツの推進</li> <li>○スポーツ協会の活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生涯スポーツの推進</li> <li>【主な活動】</li> <li>・市民ウォーキング大会(河口湖・富士川クラフトパーク)</li> <li>・シニア世代の健康増進や体力維持を目的としたシニアわくわく健康運動教室</li> <li>・女性のためのシェイプアップサッカー教室</li> <li>・スキー・スノーボード教室</li> <li>○スポーツ協会は年間を通して、ゲートボール大会、ソフトバレーボール大会、ソフトボール大会、ゴルフ大会、グラウンド・ゴルフ大会、浅利与一顕彰弓道大会、フットサル大会、グラウンド・ゴルフ教室、初心者弓道教室を開催した。</li> </ul>	3
玉穂B&G海洋センター事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○玉穂B&amp;G海洋センターは、令和4年5月から指定管理制度により運営等を行う。</li> <li>・利用者は延べ7,487人(一般利用者・学校利用者等)</li> <li>・B&amp;G財団との関連で、中部ブロック連絡協議会総会(5月)、全国教育長会議(11月)、全国サミット(1月)に参加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○玉穂B&amp;G海洋センター(プール)を適切に管理運営を行い、市民の生涯スポーツの振興と健康増進に努めた。</li> <li>○B&amp;G財団が推奨する事業への貢献と地域への海洋教育などが評価され、2年連続「特A」の評価を受けることができた。</li> </ul>	3
体育施設の管理整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育施設の管理</li> <li>施設の維持管理のため修繕を行った。</li> <li>・玉穂ふるさとふれあい広場(サッカーゴール)</li> <li>・豊富小グラウンド(照明スイッチ)</li> <li>・田富南小学校(外トイレ)</li> <li>・浅利弓道場(屋根・トイレ)</li> <li>・田富北体育館(天井)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育施設の適正管理に努めた。</li> <li>○令和6年2月から、総合防災公園のサッカー場と芝生広場の貸し出しが開始となり、サッカーやグラウンド・ゴルフ等に利用され、新規の利用団体確保につながった。</li> </ul>	3
施策	図書館活動の推進		
事務事業名	実績	成果又は課題	評価
ブックプレゼント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ブックプレゼント事業</li> <li>・人生の節目における良書との出会いにより読書の楽しさを知り、生涯にわたって読書に親しむ気持ちを育成することを目的とした事業。</li> <li>対象・・・小学校入学児・中学校卒業生</li> <li>・新入生ブックプレゼント(247人)</li> <li>・卒業生ブックプレゼント(289人)</li> <li>○ブックスタート</li> <li>・家庭における読み聞かせの普及を目的とした取組み(180人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ブックプレゼント事業</li> <li>・新入生ブックプレゼント</li> <li>入学式の日(希望の本を決め、後日小学校入学する1年生(市外小学校含む)に贈呈した。ブックプレゼントセレモニー(贈呈式)ではボランティアグループによる読み聞かせを実施した。</li> <li>・卒業生ブックプレゼント</li> <li>卒業式の日(中学校卒業生(市外中学校10人は後日)に本を贈呈した。</li> <li>○ブックスタート</li> <li>・7か月の乳児健診時に保護者に図書館司書が絵本を4冊紹介し、うち希望する2冊を贈呈した。</li> </ul>	3

<p>玉穂生涯学習館事業</p>	<p>○実施した主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「文学教養講座」、「児童文学講演会」</li> <li>・がくしゅうかんまつり</li> <li>・読み聞かせの会(協力：図書館ボランティアグループ)の開催(月1回)、玉穂保育園園児への「読み聞かせの会」の開催(月1回)</li> <li>・親子で子育て支援センターにおいて「司書シアター」を月1回開催</li> <li>・「街の音楽隊がやってくる音楽会」(甲府地区消防本部音楽隊)</li> <li>・「図書館シネマ」(当館に所蔵するDVD)</li> </ul> <p>○豊富図書館(玉穂生涯学習館の分館)では、「読み聞かせの会」(協力：図書館ボランティアグループ)の各月開催、「読み聞かせの会」(豊富保育園)の月1回開催、「おりがみでたのしみましょう」(折り紙ボランティア)の月2回開催。新規で豊富児童館において「読み聞かせの会」(豊富児童館)の月1回開催。</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことによりこれまで以上の事業展開を図るよう心がけ、事業を通して生涯学習の推進や図書館利用促進へつなげるように努めた。</p> <p>○乳幼児から高齢者まで生涯を通して学べる場としての役割を果たすため事業検討を随時行っていく。</p>	<p>3</p>
<p>田富図書館事業</p>	<p>○令和5年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行により感染防止対策をとりつつ段階的に事業を実施した。</p> <p><b>【主な活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「としょかんまつり あんど わいわいひろば」</li> <li>・「おはなし会」</li> <li>・「としょかんすごろく」の実施</li> <li>・「ちょっときのはやいクリスマスのつどい」</li> <li>・読み聞かせ会(ボランティアグループによる)</li> </ul>	<p>○新型コロナウイルス感染症の5類移行により各種事業を再開し、図書館利用の促進に努めた。</p> <p>「おはなし会」では人数制限を行わず開催し、参加した親子に楽しんでもらうことができた。夏休み期間やクリスマス時期には田富図書館オリジナルのサイコロを作って楽しんだり、大型紙芝居を活用しながら楽しい時間を過ごすことができた。</p>	<p>3</p>
<p>図書資料整備事業</p>	<p>○各館の資料整備(購入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉穂生涯学習館 児童書2,126冊、一般書3,893冊、CD・DVD72点</li> <li>・豊富図書館 児童書832冊、一般書574冊、</li> <li>・田富図書館 児童書1,862冊、一般書3,257冊、CD・DVD155枚</li> </ul> <p>○図書や視聴覚資料、雑誌の年間貸し出し件数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉穂生涯学習館 163,688点</li> <li>・豊富図書館 7,772点</li> <li>・田富図書館 133,083点</li> </ul>	<p>○図書購入は、それぞれの図書館において特色を出しながら、話題になっている小説や各分野での最新本など市民が読みたいと思うような図書を選定して行われ、図書館の利用促進や読書活動の推進を図った。そのため、多くの図書・視聴覚資料の貸し出しが行われた。</p>	<p>3</p>

図書館施設整備事業	<p>○玉穂生涯学習館は、開館より25年以上経過したため、設備等の修繕が必要となってきた。</p> <p>【修繕内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用照明器具、煙感知器</li> <li>・視聴覚ホールの誘導灯等</li> <li>・研修室の机キャスター</li> <li>・トイレ換気扇取替等</li> <li>・1階エントランスホールのLED化工事</li> <li>・正面入口の屋根雨漏り修繕</li> <li>・受水槽外面パネル亀裂補修等</li> </ul> <p>○田富図書館では、図書館フロアのカウンター上部の蛍光灯をLED照明に切り替えた。</p>	<p>○玉穂生涯学習館・田富図書館ともに、必要な修繕等の施設整備を実施したことにより、緊急時への対応やフロア・研修室等の利便性を図り、利用者の読書環境及び作業環境を整えた。</p>	3
-----------	--	--	---

施策	歴史文化の継承		
----	---------	--	--

事務事業名	実績	成果又は課題	評価
指定文化財管理事業	<p>○長徳院本堂(市指定文化財：建造物)の正面硝子格子戸及び雨戸の修理を実施</p>	<p>○長徳院本堂(市指定文化財：建造物)の正面硝子格子戸及び雨戸の修理を実施したことにより、防犯・防水機能を高め、文化財をより良い状態で保存継承が可能となった。</p>	3
豊富郷土資料館活用事業	<p>○歴史講座、講演会、わんぱく与一まつり等を豊富郷土資料館と合同での実施や資料館企画展の開催でも連携した。</p>	<p>○豊富郷土資料館と合同で歴史講座、講演会、わんぱく与一まつり等を実施したことにより、郷土資料館を訪れる機会を創出した。また、資料館企画展にも関わり、遺跡調査の成果の企画展示を通して周知することができた。</p>	3
文化協会助成事業	<p>○中央市文化協会が主催する文化祭を開催した。</p> <p>○文化芸術活動の各団体への活動支援を行った。</p>	<p>○4年ぶりに中央市文化協会が主催する文化祭を開催した。従来の会場が使用できないため、展示部門・囲碁将棋大会・芸能発表会・朗読会の日程や会場を変更して実施することができた。</p> <p>○コロナ禍で文化芸術活動が衰退してしまったが、事務局として各団体の活動支援を行った。芸術文化の継承を図るために市内の児童館において子どもを対象に囲碁教室や将棋教室などを文化協会に所属する団体が継続的に行っている。</p>	3
埋蔵文化財保護事業	<p>○「二子塚古墳」の保存</p> <p>○埋蔵文化財包蔵地での開発への対応</p>	<p>○宇山平地区圃場整備事業に伴い発見された「二子塚古墳」について事業主体である山梨県と協議し、その歴史的価値を鑑み埋設保存することになった。</p> <p>○埋蔵文化財包蔵地での開発に係る17件の届出・通知に対し、試掘調査、工事立会、慎重工事の対応で遺跡の不測の破壊を防いだ。</p> <p>○年間353件の包蔵地の照会に対しても適切に対応した。</p>	3

施策の方向性		教育機会の創出と充実	
施策		教育機会の保障	
事務事業名	実績	成果又は課題	評価
特別支援教育事業	<p>○教育委員会に教育指導監を配置し、就学する子どもの相談等を行った。</p> <p>○院内学級の設置・運営</p> <p>○通常級に在籍する児童・生徒の困難さ等の実態把握のためWISC検査を実施</p> <p>○特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費を支給</p>	<p>○教育指導監が支援学校・支援学級・通常級の見学同行等を行い、保護者や関係機関と連携し「一人ひとりのニーズに合わせた”子どもの学びの場”を検討し就学に繋げることが出来た。</p> <p>○院内学級では、病のある児童・生徒の学ぶ機会を保障するとともに、大学と連携して児童・生徒の病状を理解し支援することができた。</p> <p>○WISC検査の実施により、必要に応じ医療に繋がったり、支援学級への入級に繋げることができた。</p> <p>○特別支援教育就学奨励費の支給により、保護者へ経済的負担の軽減が図られた。</p>	3
貧困対策推進事業	<p>○中央市・中央市教育委員会・フードバンク山梨の三者協定に基づき、経済的に困難で支援を希望する世帯に対して食料支援の実施(78世帯)</p>	<p>○学校給食が実施されない夏季及び冬季の学校が休みの期間に経済的に困難で支援を希望する世帯に対して食料支援を行った。</p>	3
教育支援センター(不登校児童・生徒相談支援)事業	<p>教育支援センター(中央市、昭和町で共同設置)</p> <p>○学校へ登校することが困難な児童・生徒への学習支援・教育相談</p> <p>【中央市相談件数】106件</p> <p>【中央市在籍者数】5名</p> <p>○入所生徒や保護者へのカウンセリング</p> <p>○毎月、中央市教育委員会・昭和町教育委員会・支援カウンセラーと「支援会議」を開催</p> <p>【開催回数】12回</p> <p>○市内小中学校との連携</p>	<p>○学校へ登校することが困難な児童・生徒への学習支援・教育相談を行い、保護者や学校と連携する中で、学校復帰・高校進学を目指して取り組んだ。</p> <p>○相談支援員と支援カウンセラーによる入所児童・生徒や保護者へのカウンセリングを通して児童・生徒への支援を行った。</p> <p>○毎月、支援会議を開催し、児童・生徒の状況や支援内容の情報共有・検討を行った。</p> <p>○年度当初、センターの職員が市内小中学校を巡回するとともに、毎月、センターを利用する児童・生徒の出席状況や学習内容について、在籍校へ報告を行った。</p>	3
外国籍児童生徒第三の居場所事業	<p>○外国籍児童・生徒を対象とした居場所事業の開始(令和6年3月～)</p> <p>実施場所：田富総合会館</p> <p>登録定員：20名</p> <p>利用者：1日10名以上</p>	<p>○外国籍児童・生徒の日本語や日本文化等の理解を深め、学校や日常生活における困難さを解消するとともに、学習支援を含めた放課後の居場所となった。</p> <p>登録申込は、定員20名のところ、23名であった。1日7名以上の利用を目標としていたが、平均10名以上の利用があり事業開始時の目標を達成することができた。</p> <p>○今後の課題として、他機関と連携する中で本事業の運営が確立できるように協議を進める必要がある。</p>	3

外国人児童生徒等支援事業	<p>○外国籍児童・生徒の増加や多様化に伴い、きめ細やかな支援体制整備が必要とされるなか、日本語指導員（市単）・学級担任等の関係職員が連携し、外国籍児童・生徒の実態に応じた支援や指導を実施した。</p>	<p>○日本語指導員とポルトガル語通訳を「三村小学校・田富小学校・田富南小学校・田富中学校」に配置することにより、日本語指導教室での学習支援や外国から直接入国する児童・生徒及び保護者への対応、高校進学や就職等将来の進路に向けた制度の周知など相談体制の充実に努めることができた。</p>	3
地域ぐるみの学校安全体制整備事業	<p>○児童・生徒が安全で安心な登下校が行えるため活動している防犯ボランティア「こどもまもり隊」の活動支援のため保険に加入した。 ○一斉メール配信システム「学校安心メール」を活用 ○学校・教育委員会・市道路管理者や危機管理課などの関係部署・県道路管理者・警察による「通学路における合同点検」の実施 ○小学生児童に対する安全学習の実施</p>	<p>○「こどもまもり隊」は交通量の多い交差点での定点見守り、人通りの少ない道などで子ども達を見守る活動など、地域住民による声掛けや見守り活動により、大きな事故や犯罪を防ぐことができた。 ○一斉メール配信システム「学校安心メール」の活用により、警察からの情報や各学校に寄せられた不審者情報などを保護者などへ迅速に情報提供をすることができた。 ○「通学路における合同点検」を実施し、市内の危険な場所や改善について協議し、順次対応を進めている。 ○小学生児童に対して、校外学習で警察署と連携した集団で安全な登下校が行えるように学習の実施や実地訓練を通じた自転車の正しい乗り方を学習することができた。</p>	3

施策の方向性		教育の質の向上のための基盤整備	
施策		学校施設の整備	
事務事業名	実績	成果又は課題	評価
ICT教育環境推進事業	<p>○令和5年度はGIGAスクール構想で整備した高速大容量ネットワークと児童・生徒1人1台端末の運用開始から3年目となる。</p> <p>令和5年度はICT支援員の増員や中央市ICT活用支援ポータルサイトの整備、各種研修の拡充への取組を行った。</p>	<p>○ICT支援員の増員 令和4年度から1名増員し2名体制で各学校へ配置し、放課後の時間帯で教職員向けのミニ研修を実施するなど、教職員への更なるサポートを行った。</p> <p>② 中央市ICT活用支援ポータルサイトの整備 L-gate内にGIGAスクール構想の活用事例等を横展開するためのポータルサイトを用意した。</p> <p>③各種研修の拡充 職員のICT技能向上に図るため冬期休業期間を利用して、本市の採用OSである「Google for Education」に関する操作研修を行った。</p>	3
学校長寿命化等推進事業	<p>○田富小学校校舎長寿命化改修工事(令和6年度から)にかかる実施設計を実施した。</p> <p>○田富小学校仮設校舎建設工事に着手した。</p> <p>○田富小学校のグラウンド内の水道配管が仮設校舎の建設に干渉するため、布設替工事を実施した。</p>	<p>○田富小学校仮設校舎建設工事を実施予定であったが、建築基準法上の対応が必要となったため工事の着手が遅延したものの、関係機関との調整を進め、令和6年3月に工事に着手し、スケジュール通りに令和6年7月の仮校舎への移転が行えるように工程管理を行った。</p>	3
家庭学習通信機器整備支援事業	<p>○児童・生徒への家庭学習等の実施を支援するため、家庭にネットワークがない世帯へポケットWi-Fiの貸与を行った。</p> <p>令和4年度に貸与用ポケットWi-Fiを整備。(19台)</p>	<p>○令和5年度は8台の貸与申請によりポケットWi-Fiの貸与を行い、1人1台端末の持ち帰り学習の促進が図られた。引き続き、事業の周知に努める。</p>	3
各学校施設及び設備等整備事業	<p>○田富北小学校移転整備事業</p> <p>○普通教室・特別教室への空調設備の整備</p> <p>○学校校庭の遊具整備</p> <p>○学校施設の改修・修繕(緊急修繕を含む。)</p>	<p>○田富北小学校移転整備事業の終盤となる屋外運動場工事に着手し、令和6年度の運動会までに工事を完了させるよう進めることができた。</p> <p>○児童生徒の熱中症対策等の良好な教育環境を確保するため、田富南小学校、三村小学校の普通教室、特別教室に空調設備を設置した。</p> <p>○遊具の一斉点検の結果により遊具の整備(撤去・新設・改修)を行った。</p> <p>【新設】田富南小学校(10人用のぼり棒・山型雲梯)・玉穂南小学校(複合遊具・10人用のぼり棒・山型雲梯)・豊富小学校(一輪車練習台・18人用のぼり棒)</p> <p>○学校の施設や設備等の改修・修繕を行った。(改修等の期間によっては、学校等と調整を行い長期休暇期間中に施工実施)</p> <p>【主な改修等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉穂中学校(暖房機の灯油が漏れて普通教室の床に流入したため修繕工事)</li> <li>・三村小学校(太陽光発電設備の修繕工事)</li> <li>・玉穂中学校(階段昇降機設置工事)</li> <li>・田富南小学校(エアコン設備修繕)</li> </ul>	3

施策	学校における働き方改革の推進		
事務事業名	実績	成果又は課題	評価
教員の多忙化改善取組推進事業	<p>○教員の多忙化改善の推進への取組みを行った。</p> <p>留守番電話設置計画作成 勤怠管理システムの運用 部活動指導員の増員</p>	<p>○留守番電話設置計画作成 令和6年度に全小中学校に留守番電話(ナンバーディスプレイ機能)を設置し、夜間・週休日等の業務時間外の電話対応による負担の軽減を図れるよう、電話機の整備計画を作成した。</p> <p>○勤怠管理システムの運用 勤怠管理システムの運用により、各校の管理職が客観的な目線で管理することで、的確な勤務時間の把握や残務時間の指導を行うことができた。</p> <p>○部活動指導員の増員 玉穂中学校(吹奏楽部)に部活動指導員を1名配置し、部活動における教員の負担軽減が図られた。</p>	3
専門スタッフ等外部人材活用事業	<p>○部活動外部指導者の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉穂中学校 硬式テニス部、男子バスケットボール部、吹奏楽部に各1名</li> <li>・田富中学校 男子バレーボール部、女子バスケットボール部に各1名</li> </ul> <p>○スクールカウンセラーの配置 8校合計：242回・1,354.50時間</p>	<p>○部活動を指導する教員への支援として、部活動外部指導者を雇用した。</p> <p>○いじめや不登校等の未然防止、改善及び解決や学校内の教育相談体制等の充実と教員の資質能力の向上を目的として、県の「スクールカウンセラー等活用事業」により市内全小中学校にスクールカウンセラーを配置した。</p>	3
学校と教育委員会の連携協力事業	<p>○毎月、市内各小中学校の管理職と教育委員会事務局において「八校会」を開催した。</p> <p>○学校の施設整備・教育環境や教職員の職場環境の向上を図るため、各学校と課題等の情報共有を行った。</p>	<p>○八校会の開催により、市の教育方針や指導及び情報共有を図ることにより連携協力体制を深めることができた。</p> <p>○毎年、新年度予算要求に向けて、事務局職員が市内各小中学校を巡回訪問し、各校の要求についての聴き取り調査や現場確認を行った。</p> <p>○学校の実情や要望を把握し教育行政に生かせるよう教育委員による学校訪問を行った。</p>	3

## IV 教育委員会の点検・評価に関する学識経験者からの意見

教育委員会の自己点検・評価について、教育に関して学識経験を有する者から、次のとおり意見を聴取しました。

(学識経験者) 山梨県立大学教授 池田 充裕

### 1. 教育委員会の活動及び運営状況について

- ・教育委員会の開催状況として、令和5年度は定例会を12回、臨時会を1回開催し、各回で数多くの付議案件や報告事項に関して協議・検討がなされ、また、総合教育会議で市長と教育委員会が意思疎通を図り、教育行政に関わる市の意思決定を円滑に進めてきたことは高く評価できます。
- ・教育委員が市内全ての小中学校を訪問し、教育施策の執行状況や新たな教育動向について現場からの意見・情報を積極的に収集し、また、県内外で開催された研修会や入学式・運動会等の学校行事にも多く参加してきました。委員一人ひとりの教育的情熱とその使命感、自己研鑽の姿勢に心から敬意を表します。
- ・学校施設の老朽化や長寿命化計画の進展を受けて、令和5年度は各学校で「学校のあり方懇話会」を開催するとともに、学識経験者や学校教育関係者などを委員とした「中央市立学校のあり方検討委員会」が設置され、学校の適正規模や適正配置の基準や方向性等について様々な視点から検討が行われました。中長期的な視点から適切な学校規模や学校配置の検証を鋭意進めたことは、限りある教育資源を持続可能なかたちで運用していくために重要な取り組みであったと高く評価できます。
- ・今後も学校配置の検討の過程で生じる諸課題について、教職員や保護者、地域住民、専門機関等と情報を共有し連携しながら最適解を見いだせるように、粘り強く協議・検討を進めていくことを期待します。また、これにも関連して、教育施策に関する情報発信と情報公開もより積極的に進めていくことが肝要であると考えます。

### 2. 教育委員会による自己点検・評価について

- ・報告書の記載方法が今年度から改められ、点検・評価の内容が「実績」と「成果又は課題」の項目に分けられて、事務事業の執行状況に関する評価内容についても事業ごとに実績データと評価の理由、また次年度に向けての改善点が示されて、より細かく各事業の達成状況が把握できるようになりました。市民に対して市の教育事業の状況や課題点を報告書を通して広く公開していくことは、市民に対する教育委員会の説明責任を果たすとともに、市民の教育への意識を高め、その参加を促す上で重要なことであると考えます。今後もこのような細やかな取り組みが積み重ねられていくことを期待します。

- ・教育委員会の活動状況の各項目については、上述の通り、委員会の運営・活動に関しては当初の目標が十分に達成されています。また、昨年度課題となっていた教育委員会の会議の開催案内の告示や議事録の公開については、今年度から実施の運びとなり、情報公開の取り組みが前進したことは評価できます。
- ・中学校語学研修事業が新型コロナウイルス感染症の影響により未達成となったことは理解できますが、ALT推進事業や大学連携事業については昨年度に続いて目標未達となりました。また、家庭支援事業を通じた保護者への相談支援サービスが十分に提供できなかったという結果も気になります。実践的な英語教育の推進や慢性的な教員不足、様々な支援を要する児童生徒の増加といった現在の教育・社会状況を鑑みれば、これらの事業が未達となっている理由・問題点を早急に確認し、児童生徒の充実した学びに必要となる手立てが確実に実施されなければならないと考えます。善処いただけるようお願いいたします。
- ・今年度から始まった外国籍児童生徒を対象とした第三の居場所事業は、外国人住民が多い本市の状況に対応した先駆的な事業であり、大変高く評価できます。他の外国人児童生徒への支援事業とともに、本市の特色ある教育事業として、今後も継続・強化されていくことを期待します。
- ・生涯学習事業やスポーツ・文化活動事業では、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことを受けて、多くの事業が再開され、広く市民に教育サービスを提供できたことが確認できました。週末や祝祭日の企画も多く、運営にあたった職員の皆様の努力に心から感謝します。豊富郷土資料館の活動や二子塚古墳の保護事業など、特色ある事業がさらに展開・推進されていくことを期待します。